

## ■一般会計歳入・歳出の構成比(令和6年度決算額)

【表1】一般会計歳入決算額構成比

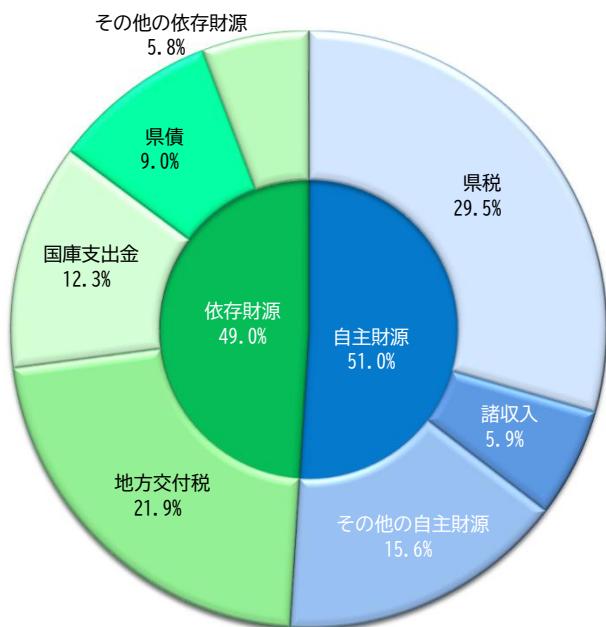
科目	歳入決算額 (円)	構成比 (%)
自主財源	3348億4849万5688	51.0
県税	1935億0423万9816	29.5
諸収入	389億0928万7928	5.9
その他の自主財源	1024億3496万7944	15.6
依存財源	3216億4820万4878	49.0
地方交付税	1438億3010万3000	21.9
国庫支出金	805億4769万6878	12.3
県債	591億4610万0000	9.0
その他の依存財源	381億2430万5000	5.8
合計	6564億9670万0566	100.0

資料：県会計課

歳入とは、県に入ってくるお金で  
収入のことだよ。



【図1】一般会計歳入決算額構成比



最大の収入源は、県税なんだ！

令和6年度は、前の年度に比べて、バスやトラックなどの燃料(軽油)を引き取る  
(貢う)ときに払う税金は減ったけど、会社が払う税金が増えて、77億円ほど増加したよ！

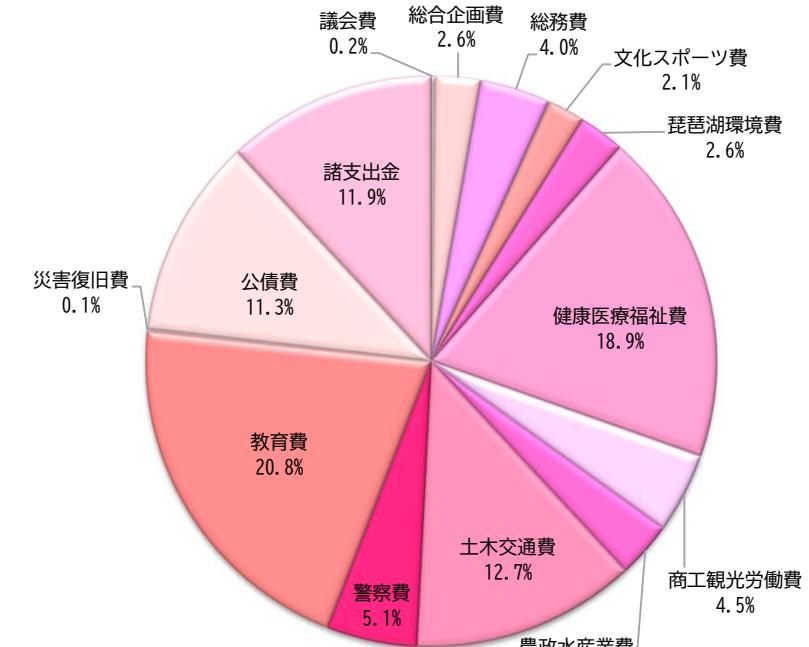
【表2】一般会計歳出決算額構成比

科目	歳出決算額 (円)	構成比 (%)
議会費	11億8043万8815	0.2
総合企画費	168億1075万1676	2.6
総務費	262億9157万4231	4.0
文化スポーツ費	139億6047万2056	2.1
琵琶湖環境費	168億8480万0065	2.6
健康医療福祉費	1224億6562万3692	18.9
商工観光労働費	292億5468万5653	4.5
農政水産業費	205億7996万2348	3.2
土木交通費	824億4162万8626	12.7
警察費	334億0436万1594	5.1
教育費	1349億2679万0165	20.8
災害復旧費	5億0195万1024	0.1
公債費	735億1032万2586	11.3
諸支出金	769億4786万1487	11.9
合計	6491億6122万4018	100.0

資料：県会計課

歳出とは、県が使うお金で  
支出のことだよ。

【図2】一般会計歳出決算額構成比



令和6年度で最も支出が

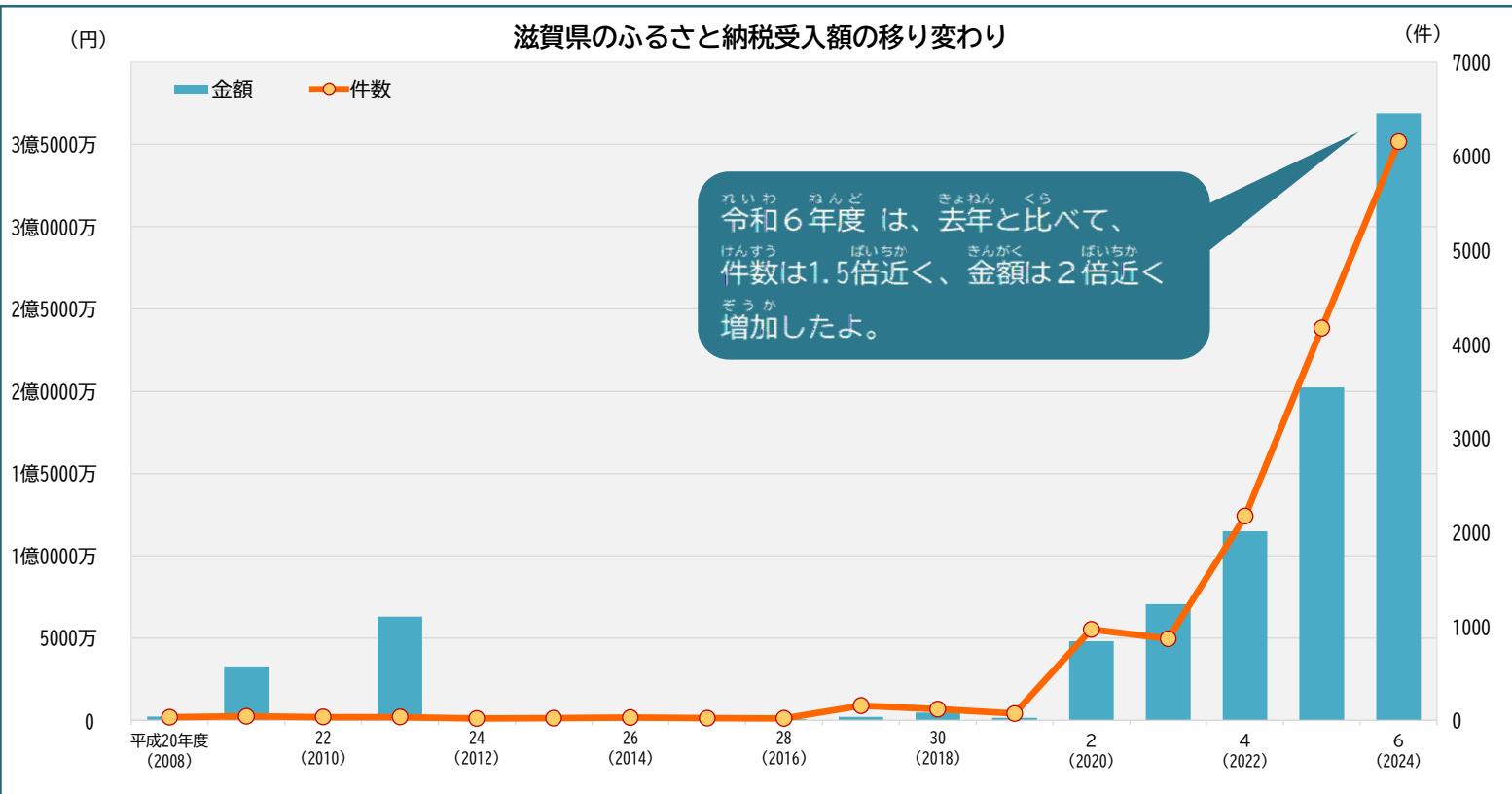
多かったのは教育費で、  
去年の金額より94億円近く

増加したよ。



滋賀県のふるさと納税受入額の移り変わり

	金額 (千円)	件数 (件)
平成20年度 (2008)	226万 9	33
21 (2009)	3279万 5	44
22 (2010)	344万 4	36
23 (2011)	6312万 7	36
24 (2012)	94万 6	21
25 (2013)	82万 9	24
26 (2014)	105万 7	31
27 (2015)	66万 3	24
28 (2016)	84万 1	22
29 (2017)	210万 7	157
30 (2018)	476万 6	119
令和元年度 (2019)	171万 0	74
2 (2020)	4816万 7	968
3 (2021)	7075万 6	868
4 (2022)	1億1495万 4	2172
5 (2023)	2億0238万 5	4172
6 (2024)	3億6904万 6	6154



多くの人が地方のふるさとで生まれ、その自治体から  
医療や教育など様々な住民サービスを受けて育つけど、  
進学や就職をきっかけに、生活の場を都会に移して、  
そこで税金を納め始める、ということが多いんだ。



その結果、都会の自治体には  
税収が入るけど、  
ふるさとの自治体には  
税収が入らないんだ。

そこで、  
「今は都会に住んでいても、  
自分を育ててくれたふるさとに  
いくらかでも納税できる制度が  
あっても良いのではないか。」  
という問題提起から、  
ふるさと納税が生まれたんだ。  
みんなも、自分が住んでいる市・町に  
どれくらいのふるさと納税がされているか  
調べてみよう！

